



証券コード:3501

第136期 中間報告書  
2024年6月1日 ▶ 2024年11月30日

# SUMINOE REPORT

## CONTENTS

トップメッセージ	1
ハイライト	3
連結財務諸表	4
事業概況	5
トピックス	7
ガバナンス・インフォメーション	9
株式情報	10

 SUMINOE株式会社

SUMINOE Co., Ltd.

昨日と違う  
空間を生み出すために。

住江織物は  
SUMINOEへ

## トップメッセージ



## 住江織物はSUMINOEへ 新たな空間の創造へ走り続けます。

代表取締役社長  
永田 鉄平

### 当中間期の業績

当中間連結会計期間の日本経済は、堅調な企業収益を背景に設備投資が安定して推移するとともに、賃上げによる雇用・所得環境の改善が進むなど、景気は緩やかに回復しました。一方で、長期化する原材料・エネルギー価格の高騰に加え、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の減速など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。そうしたなか当社グループの業績は、回復傾向である鉄道・バス向け内装材需要への的確な対応により車両関連の売上は伸長しているものの、自動車関連において、北中米拠点での短期的な受注変動による生産効率の悪化や中国国内の

新たな電気自動車メーカーの台頭等に伴う主要取引先の大規模な減産、また、東南アジア各国の社会情勢を背景とする日系自動車メーカーの生産台数減少の影響を受けました。インテリア事業でも一般家庭向け商材が振るわなかったことなどから、連結売上高は506億98百万円(前年同期比1.4%減)となりました。利益面では、減収に加え、原材料価格の高騰や輸送費用の増加などにより、営業利益7億42百万円(同47.2%減)となり、為替差損や持分法による投資損失を計上したことなどから、経常利益4億46百万円(同73.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益65百万円(同91.3%減)となりました。

## 通期の見通し

平均為替レートが計画比円安ドル高で推移することにより売上と利益面への寄与が期待されるものの、自動車メーカーの生産計画、販売計画の見直しによる影響など事業環境および経済情勢の精査中であるため、通期見通しは、売上高1,053億円、営業利益33億円、経常利益34億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円から変更はありません。

なお、2025年1月14日に開示しましたとおり、当社は2025年2月28日を基準日として、当社普通株式1株につき2株の割合をもって分割することを決議しました。そのため当期の配当金につきましては、中間は1株当たり40円とし、期末配当金は20円とさせていただく予定です。期末配当金は分割比率に合わせて修正するものであり、1株当たりの期末配当予想に実質的な変更はありません。

また、この株式分割に伴い株主優待制度も変更(拡充)させていただきますので、詳しくは同封のお知らせをご覧ください。

## SUMINOEは空間創造カンパニーへ

2024年12月2日、当社は「住江織物株式会社」から「SUMINOE株式会社」に社名を変更し、下期をスタートしました。長らく親しんだ社名にある「織物」や繊維などで培い発展させてきた高度な技術は、受け継ぎ活用しつつ、それらを基盤とした新たな未来の「空間」を見据えた事業を推進してまいる所存です。

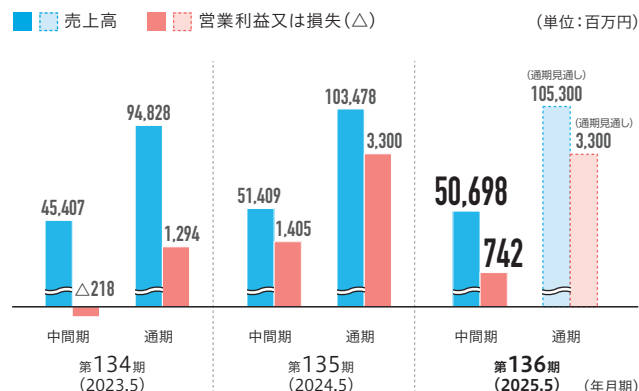
そのためにまず注力しているのは、中長期経営目標後半3カ年「STEP II」に掲げている、グローバル展開の加速と非繊維領域の拡充を含む各事業の収益力および競争力向上です。特に、自動車内装材を天井から足元までトータルでコーディ

ネットし提案できるという、世界的にも稀有な特長を活かし、当社100%子会社で構成される北中米拠点において外資系自動車メーカーへの販路拡大とトータルサプライヤーという競合他社との差別化で地位確立を目指していきます。インテリア事業においては、プロダクトポートフォリオの見直しやスペースデザインビジネスのシナジー効果最大化を通じて収益率の改善に取り組むとともに、室内空間全体への提案力強化を進めていきます。

「あらゆる空間に、イノベーションを。」のタグラインのもと、グループシナジーを最大限に発揮させ、全社をあげて新生SUMINOEを作り上げ、新たな空間の価値創造につながるモノづくりに注力してまいります。

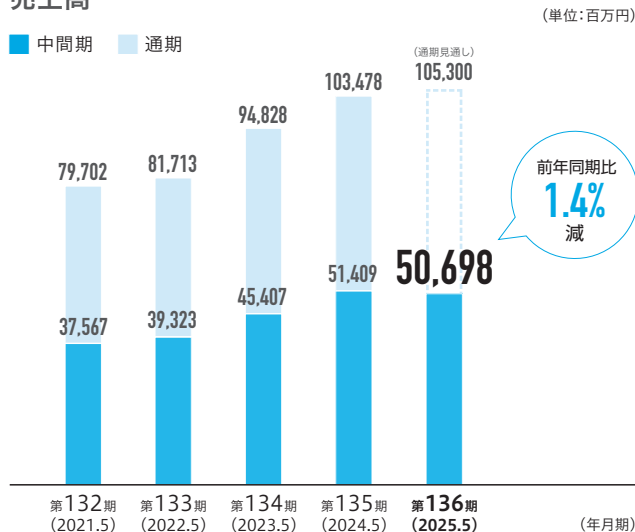
株主のみなさまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結数値の推移

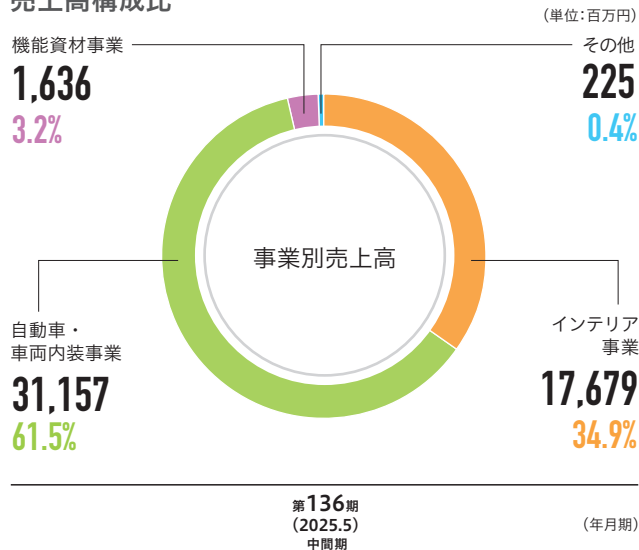


## ハイライト

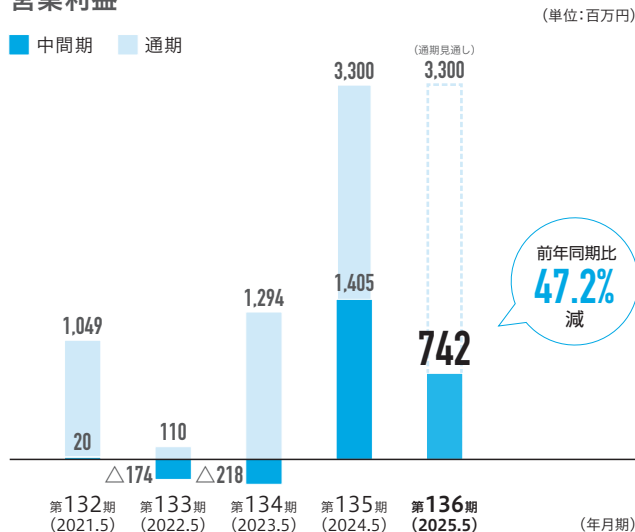
### 売上高



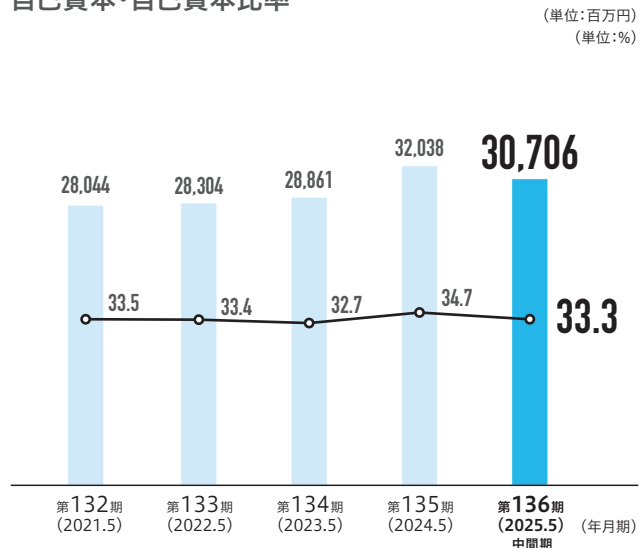
### 売上高構成比



### 営業利益



### 自己資本・自己資本比率



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	2024年5月31日現在	2024年11月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	50,949	53,012
現金及び預金	8,303	8,115
受取手形、売掛金及び契約資産	15,665	16,277
電子記録債権	7,764	8,867
棚卸資産	16,331	16,244
その他の資産	2,885	3,507
固定資産	41,249	39,072
資産合計	92,199	92,085
<b>負債の部</b>		
流動負債	35,479	37,595
固定負債	19,031	17,958
負債合計	54,511	55,553
<b>純資産の部</b>		
株主資本	21,431	20,981
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,388	2,380
利益剰余金	12,198	12,022
自己株式	△ 2,709	△ 2,975
その他の包括利益累計額	10,607	9,725
非支配株主持分	5,649	5,825
純資産合計	37,687	36,532
負債純資産合計	92,199	92,085

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	2023年 6月 1日から 2023年11月30日まで	2024年 6月 1日から 2024年11月30日まで
売上高	51,409	50,698
売上原価	40,556	40,225
売上総利益	10,852	10,472
販売費及び一般管理費	9,447	9,730
営業利益	1,405	742
営業外収益	584	434
営業外費用	296	729
経常利益	1,693	446
特別利益	133	443
特別損失	77	36
税金等調整前中間純利益	1,749	853
法人税等合計	620	453
中間純利益	1,128	399
非支配株主に帰属する中間純利益	375	333
親会社株主に帰属する中間純利益	753	65

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

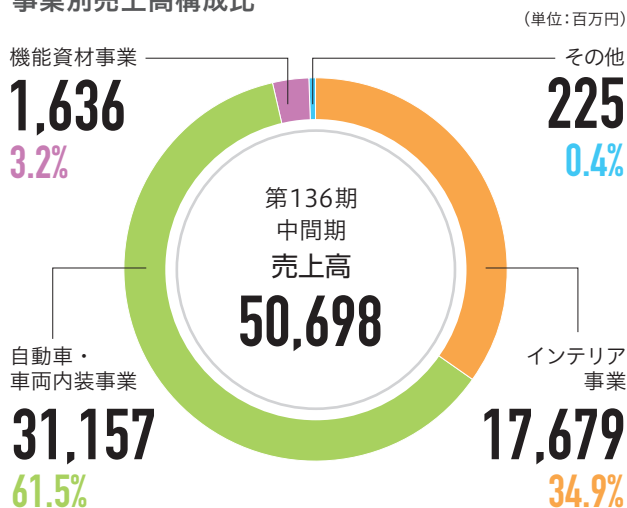
科目	前中間期	当中間期
	2023年 6月 1日から 2023年11月30日まで	2024年 6月 1日から 2024年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,914	△ 1,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 694	△ 549
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	1,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	182	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,826	△ 187
現金及び現金同等物の期首残高	6,929	8,153
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,756	7,965



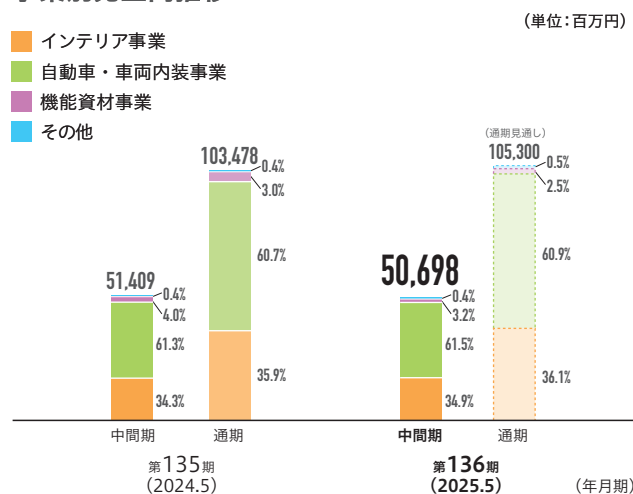
## 事業概況

セグメント別の概況をご報告申し上げます。

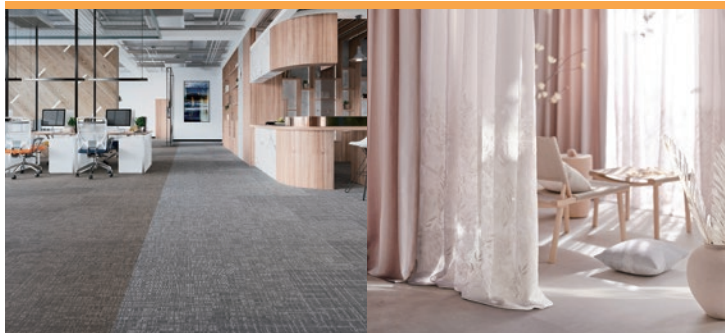
### 事業別売上高構成比



### 事業別売上高推移



## インテリア事業



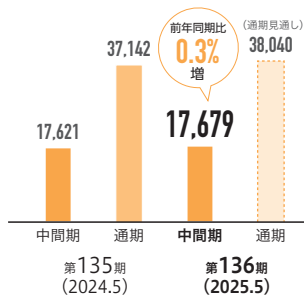
## 自動車・車両内装事業



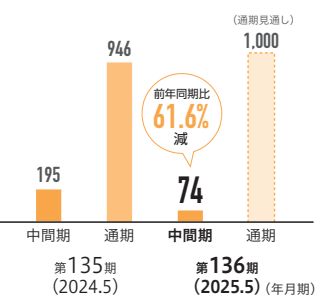
## 機能資材事業



## 売上高 (単位:百万円)



## セグメント利益 (単位:百万円)

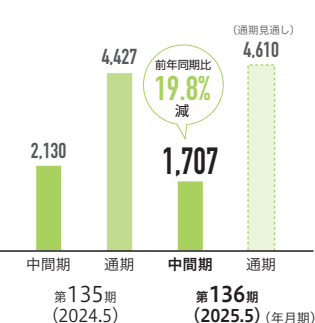
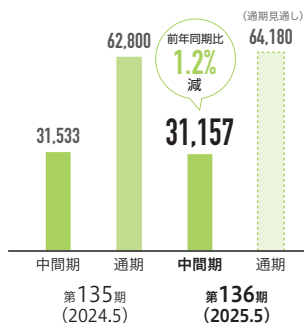


## 当中間期の業績

一般家庭向け商材の停滞が継続した一方、環境への取り組みが市場浸透したことによりタイルカーペットの納入物件数が増加し、全体の売上高は増加しました。利益面では、一般家庭向け商材の減収や長期化する原材料・エネルギー価格の高止まりの影響を受け、減少しました。

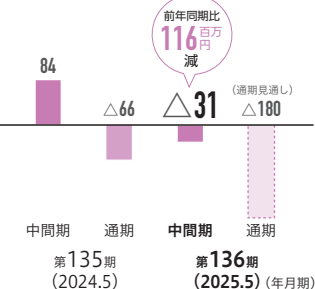
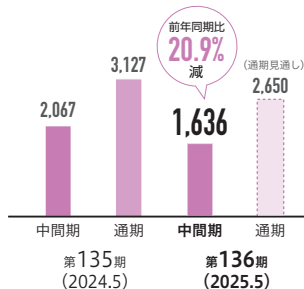
## 通期について

インバウンド需要の回復に伴うホテル等の改修物件増加に着実に対応し、ロールカーペットの受注拡大を図るとともに、中高級ゾーンに向けた付加価値型の製品群の新たな販路拡大や販売戦略の見直しにより、市場シェアの拡大および収益力強化を目指します。



回復傾向である鉄道・バス向け内装材の受注が堅調となったものの、中国でのEVシフトの加速や東南アジア各国の社会情勢等により自動車生産台数が減少し、売上高は前年同期を下回りました。利益面でも、減収や輸送費用の増加等が大きく影響しました。

自動車メーカーの生産販売計画の見直しと事業環境の精査を進めつつ、北中米拠点の本格成長に向けた投資も進めます。車両関連では、内装材のほか安全対策製品や車体部品など幅広い提案を強化することで、さらなる業績向上を目指します。



空気清浄機向けフィルターの納入時期の前倒しやポリエステル長繊維「スミロン®」など各種機能材の販売が寄与した一方、繊維系暖房商材は近年の暖冬に起因する市況低迷の影響を受けるとともに、浴室床材の一部モデルの転注などにより、売上・利益ともに減少しました。

繊維系暖房商材の主生産工場であるベトナム拠点で、自動車向けカーペットおよびカーマットの生産体制構築と当期中の量産稼働を目指しています。また、他部門との連携により機能性に富んだ製品を開発し新たな市場開拓に注力するなど、次の成長に向けた改革を進めます。

## トピックス



## インテリア事業

ANA インターコンチネンタルホテル東京に  
当社の特注アキスミンスターカーペットが採用

世界的なホテルチェーンIHGホテルズ&リゾーツが運営するANA インターコンチネンタルホテル東京にて、約15カ月にわたって行われた大規模改装『ラグジュアリールーム・リノベーション』。

インテリアデザインは日本の伝統と魅力的な文化をたたえ、『折り紙』をデザインモチーフに、『展開する東京』をキーワードコンセプトとして、カーペットやアートワークにオリジナルデザインを展開した客室に、特注のアキスミンスターカーペットが採用されました。

宿泊されるお客様の滞在体験をより一層快適なものにし、東京のラグジュアリーホテル市場における同ホテルの地位向上に貢献しています。

## 自動車・車両内装事業

スズキの新型「スペーシア ギア」に  
当社内装材が採用

当社の製品が、スズキ株式会社の新型「スペーシア ギア」のシート材・ドア材に採用されました。新型モデルはアクティブな日常とアウトドアを楽しむ方に最適な一台で“無骨かわいい”が魅力のSUVライクな軽ハイトワゴン車です。内装材のデザインでは、ブロックゲームのような凹凸ドット調無地柄を丸編み生地で表現しています。さらにアウトドアを感じるタイヤパターン模様、そして山のように見える柄のエンボス加工もプラスいたしました。エンボス加工表皮をシート材に、エンボス未加工の無地表皮をドア材に採用いただきました。シート材・ドア材ともに汚れに強い撥水加工をし、実用的な機能も魅力です。





## 機能資材事業

### 水濡れ検知システム「Swetty」の 実用化に向けた取り組み

水濡れ検知システム「Swetty」は、当社が開発した布帛型センサに、水分による電気抵抗値変化を感知、伝達させ、センサの水濡れ状態やムレ状態を検知する仕組みです。

布帛型センサであるため金属型センサに比べて、追従性や触感に優れ、広い面積で使用できることが特長です。

介護分野などの民生用途以外に、業務用途でも座席などの水濡れ検知や、工事現場や工場などでの漏水・乾き検知、製品検査時の漏水試験用途など、幅広い用途での利用が期待され、当期から実証実験が開始されました。

実用化にあたっては個々のニーズや使用環境に合わせたシステムとしなければなりません。柔軟に対応しながら、早期の実用化に向けた取り組みを進めてまいります。



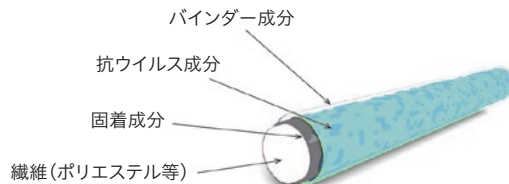
## 技術・生産本部

### 抗ウイルス性能評価技術の構築と 商品開発

コロナ禍以降、突発的な抗ウイルス加工商品の需要に対応するため、自社内の抗菌・抗ウイルス試験体制を築き強化し、商品開発の迅速化や品質向上を実現してきました。また試験体制構築時に得た技術を用い、当社商品ラインナップに加工できる耐久性に優れた抗菌・抗ウイルス加工「Vguard」を開発しました。タイルカーペットやカーテンにおいて商品化しており、その他の商材にも展開していきます。

## Vguard ファイガード

(繊維への固着メカニズム)



※イラストはイメージです。



## ガバナンス

## 役員 (2024年11月30日現在)

## 取締役

代表取締役社長	永田鉄平
代表取締役常務*	薄木宏明
取締役*	村瀬典久
取締役*	諏訪和晃
社外取締役	清水春生
社外取締役	野村公平
社外取締役	種田ゆみこ
社外取締役	澁谷裕子

\*の取締役は上席執行役員を兼務します。

## 監査役

常勤監査役	市川清一
社外監査役	片山貴文
社外監査役	天知秀介

## 執行役員

執行役員	吉澤朋宏
執行役員	高島順
執行役員	松波浩
執行役員	青山雅一
執行役員	水野明秀
執行役員	佐々木和馬
執行役員	服部太郎
執行役員	上田研一
執行役員	田村裕史

## インフォメーション

## 社名変更に合わせて公式サイトへの更新や新聞・交通広告を展開

2024年12月2日の「住江織物株式会社」から「SUMINOE 株式会社」への社名変更に合わせて、公式サイトへのメインビジュアル刷新や社名変更特設サイトの公開、新聞広告および交通広告の展開を行いました。

## 【公式サイト】

社名変更を機に、メインビジュアルをムービーに刷新しました。また、社名変更特設サイトを公開し、創業から140年、新たな空間を目指して駆けてきた当社のあゆみとこれから目指す未来を表現しました。



## 【広告展開】

- 12月2日の新聞朝刊への広告出稿および交通広告動画などの広告を展開しました。
- 新聞5段広告(日本経済新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞 ほか)
  - 交通広告(JR北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州エリア、東京メトロ、Osaka Metro 主要駅)



そのほか、SUMINOE株式会社本社の最寄り駅である心斎橋駅のクリスタ長堀北10番出口で新しいデザインでの看板を掲出し、虎ノ門の大型ビジョン「ToRaVi」での動画放映も行いました。



今後も当社グループの認知度向上のため、様々な施策を実行してまいります。

## 株式情報

## 株式の状況 (2024年11月30日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	7,682,162株
株主数	10,927名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	924	13.97
日本生命保険相互会社	476	7.20
丸紅株式会社	366	5.54
林テレンプホールディングス株式会社	233	3.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	178	2.70
住江織物共栄会	149	2.26
住江織物従業員持株会	146	2.22
明治安田生命保険相互会社	115	1.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	98	1.49
ヒューリック株式会社	75	1.13

- ※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2. 当社は自己株式(1,059,757株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。  
 また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。  
 3. 2024年12月2日付の商号変更に伴い、住江織物共栄会の名称をSUMINOE共栄会、  
 住江織物従業員持株会の名称をSUMINOE従業員持株会に変更しています。

## 本報告書、株式に関するお問合せ先

SUMINOE株式会社 本社総務部

TEL : 06-6251-6801 FAX : 06-6251-0862

## 株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 当社ホームページをご覧ください。 <a href="https://suminoe.co.jp/ir/">https://suminoe.co.jp/ir/</a>

## みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話	0120-288-324(フリーダイヤル)
URL	<a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

## 証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	口座を開設されている証券会社	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

## 特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
◎単元未満株式の買増・買取請求 ◎届出住所・氏名などの変更 ◎配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座 管理機関	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会 ◎未払配当金に関するご照会※ ◎その他の株式事務手続きに関するご照会	株主名簿 管理人	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

※ 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の  
 本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

## 会社情報

## 会社概要 (2024年11月30日現在)

会社名	SUMINOE株式会社 SUMINOE Co., Ltd. (住江織物株式会社より2024年12月2日に商号変更)
URL	<a href="https://suminoe.co.jp/">https://suminoe.co.jp/</a>
本社所在地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号 TEL:06-6251-6801
創業	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資本金	95億54百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	251名(連結2,798名)

## 国内グループ会社

## SUMINOE(株)の事業所

- ① 本社
- ② 東京支店
- ③ 奈良事業所
- ④ 滋賀事業所
- ⑤ 京都美術工芸所
- ⑥ 東関東営業所
- ⑦ 西関東営業所
- ⑧ 名古屋営業所
- ⑨ 広島営業所
- ⑩ 福岡営業所

## グループ会社

- ① SUMINOE(株)
- ② (株)スミノエ インテリア プロダクツ
- ③ ルノン(株)
- ④ 住江物流(株)
- ⑤ 関西ラボラトリー(株)
- ⑥ スミノエ テイジン テクノ(株)
- ⑦ 丸中装栄(株)
- ⑧ 住江テクノ(株)
- ⑨ 丹後テクスタイル(株)
- ⑩ 帝人テクロス(株)
- ⑪ 尾張整染(株)
- ⑫ (株)ソーイング兵庫
- ⑬ インテック(株)
- ⑭ (株)シーピーオー
- ⑮ (株)プレテリアテキスタイル
- ⑯ 関織物(株)

## 各事業の営業拠点

- インテリア ● 自動車内装
- 車両内装 ● 機能資材
- スミノエ ショールーム

## 海外グループ会社

- ① Suminoe Textile of America Corporation
- ② Bondtex, Inc.
- ③ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
- ④ 住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司
- ⑤ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
- ⑥ 住江織物商貿(上海)有限公司
- ⑦ 蘇州住江織物有限公司
- ⑧ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
- ⑨ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
- ⑩ PT. Suminoe Surya Techno
- ⑪ PT. Sinar Suminoe Indonesia
- ⑫ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Ltd.
- ⑬ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

